

令和6年度 学校評価まとめ

(1) アンケート集計

教育目標具現化のための重点内容	数字は、肯定的な意見（5「よくあてはまる」と4「ややあてはまる」）の割合です。 上段：前期 下段：後期	
	保護者（％）	教職員（％）
1 教育方針や児童の様子を学校だより、学年だより、メール等で分かりやすく伝えている。	93 95	95 100
2 児童の安全確保や事故防止に努めている。	90 85	100 100
3 児童や保護者からの相談に親身に寄り添い、適切に対応している。	82 88	100 95
4 児童を理解し、一人一人に合わせて支援や配慮をしている。	78 76	100 95
5 面談等で児童の良い面や努力点を伝えている。	96 89	100 100
6 いじめのない学校づくりに努めている。	71 73	100 100
7 楽しくわかりやすい学習指導を行っている。	71 77	100 100
8 保護者や地域と連携し、よりよい学校づくりに努めている。	82 82	90 85

(2) 考察

- ・設問1、設問5については、日頃の児童の様子をタイムライン、連絡帳、電話、面談等で機会を捉えて情報発信していることが一定の評価を得たと考えている。
- ・設問6「いじめのない学校づくり」について、「あまりあてはまらない」、「まったくあてはまらない」の回答が約2割となった。昨年度起きた大きないじめが解決に至らなかったこと、いじめ防止に向けた学校の取組についての周知が十分でなかったことが要因と考える。来年度以降、年度当初に各学級でいじめ防止に向けたスローガンを考え、毎月自分たちの取組がどうであったか振り返り時間を設ける等、全職員でいじめのない学校づくりに取り組んでいく。
- ・昨年度の保護者からの意見を踏まえ、今年度は「わからない」という選択肢を設けた。教育相談、学習指導など具体的な内容になると「わからない」と答える保護者の方がいることをふまえ、行事等の様子は伝わっているが、日々の学習や生活の様子や教師の指導・支援が伝わっていないのではないかと考えられる。今後、日々の学習や生活に対し、教師がどのように指導・支援しているかを伝えていくようにしたい。